

現在の暮らし向きと 2025年の 景気予想

福岡県居住者の「暮らし向き」に関する調査

2025年1月

調査概要

1. 調査方法

当社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

2024年12月6日（金）～12月13日（金）

4. 調査規模

373サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	131	35.1
女性	242	64.9
全体	373	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20～30代	73	19.6
40代	100	26.8
50代	100	26.8
60代以上	100	26.8
全体	373	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	203	54.4
福岡市以外都市圏	85	22.8
その他福岡県	85	22.8
全体	373	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	103	27.6
公務員	11	2.9
団体職員・病院勤務	17	4.6
経営者・会社役員	9	2.4
派遣社員・契約社員	32	8.6
商工自営	12	3.2
農林漁業	0	0.0
自由業	8	2.1
学生	0	0.0
パート・アルバイト	67	18.0
専業主婦(主夫)	68	18.2
無職	43	11.5
その他	3	0.8
全体	373	100.0

■ライフステージ	件数	構成比(%)
独身(離死別含む)	104	27.9
既婚で末子に小学生以下の子ども	83	22.3
既婚で末子に中学生以上の子ども	43	11.5
既婚(子育て終了)	103	27.6
既婚で子どもなし	39	10.5
その他	1	0.3
全体	373	100.0

■世帯年収(*学生除く)	件数	構成比(%)
200万円未満	35	9.4
200～300万円未満	36	9.7
300～400万円未満	44	11.8
400～500万円未満	33	8.8
500～600万円未満	46	12.3
600～700万円未満	30	8.0
700～800万円未満	30	8.0
800～900万円未満	10	2.7
900～1000万円未満	11	2.9
1000～1500万円未満	24	6.4
1500万円以上	3	0.8
わからない	71	19.0
全体	373	100.0

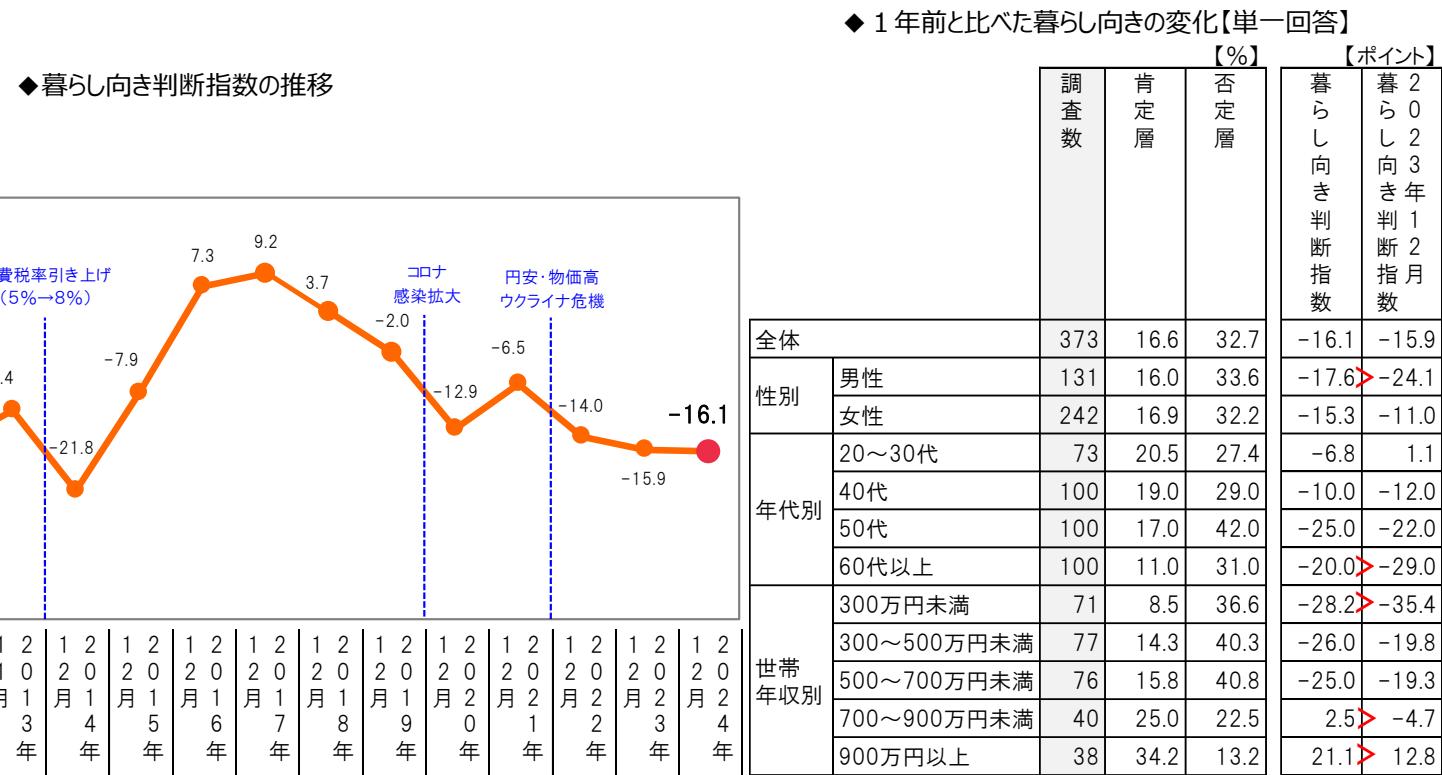
【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数的回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

1. 暮らし向きの変化

暮らし向き判断指数は直近4年間で低下傾向にあり、過去10年で2番目の低さ。

- 1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかというと良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかというと悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は-16.1ポイント。過去10年でみると、2014年に次ぐ2番目の低さであり、コロナの影響を大きく受けた2020年と比べても3ポイント低い結果となった。
- 男性の暮らし向き判断指数は前回から上昇し、女性と同水準である。
- 年代が高い層で暮らし向き判断指数は低くなるが、60代以上は前回から9ポイント上昇した。
- 世帯年収別では、700万円を境にプラスとマイナスに分かれ、暮らし向きマインドの年収による差が鮮明になった。

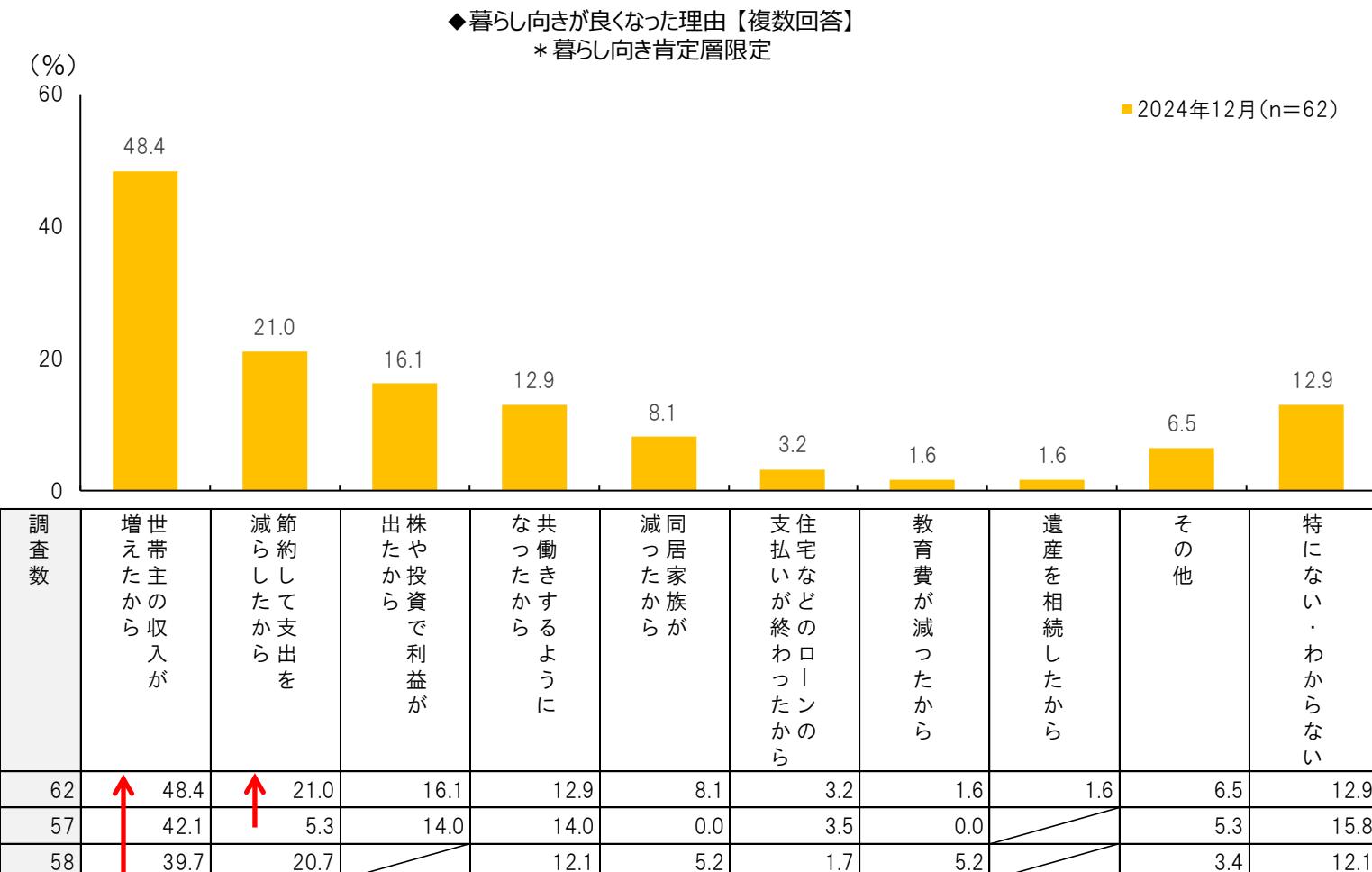


2. 暮らし向きが良くなった理由

*暮らし向き肯定層限定 3

- 暮らし向きが良くなった理由 1位は「世帯主の収入増」、直近3年間で増加傾向にある。
- また、「節約して支出を減らした」は昨年から16ポイント増加し、2022年と同水準である。
- 「株や投資で利益が出た」も昨年に引き続き収入面でプラスになっていることがわかる。

*サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

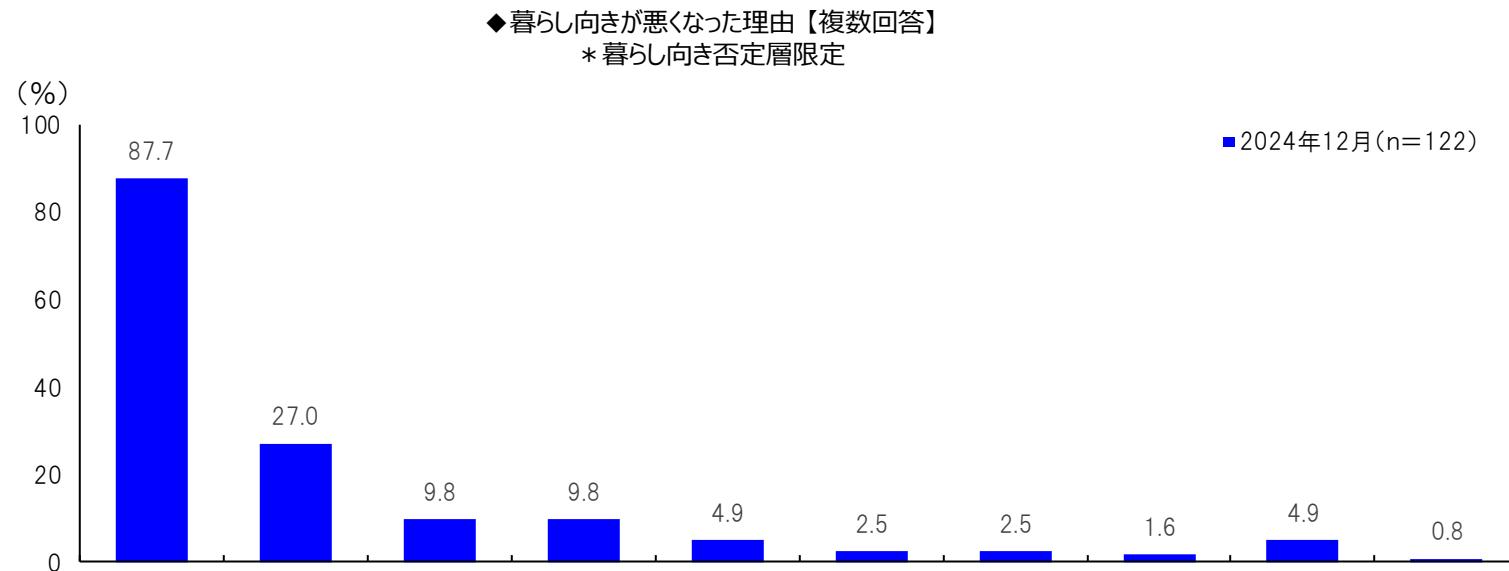


3. 暮らし向きが悪くなった理由

*暮らし向き否定層限定 4

- 暮らし向きが悪くなった理由について、「世帯主の収入減」は減少傾向にあり、収入面よりも「物価上昇」の影響が大きい。

*サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。



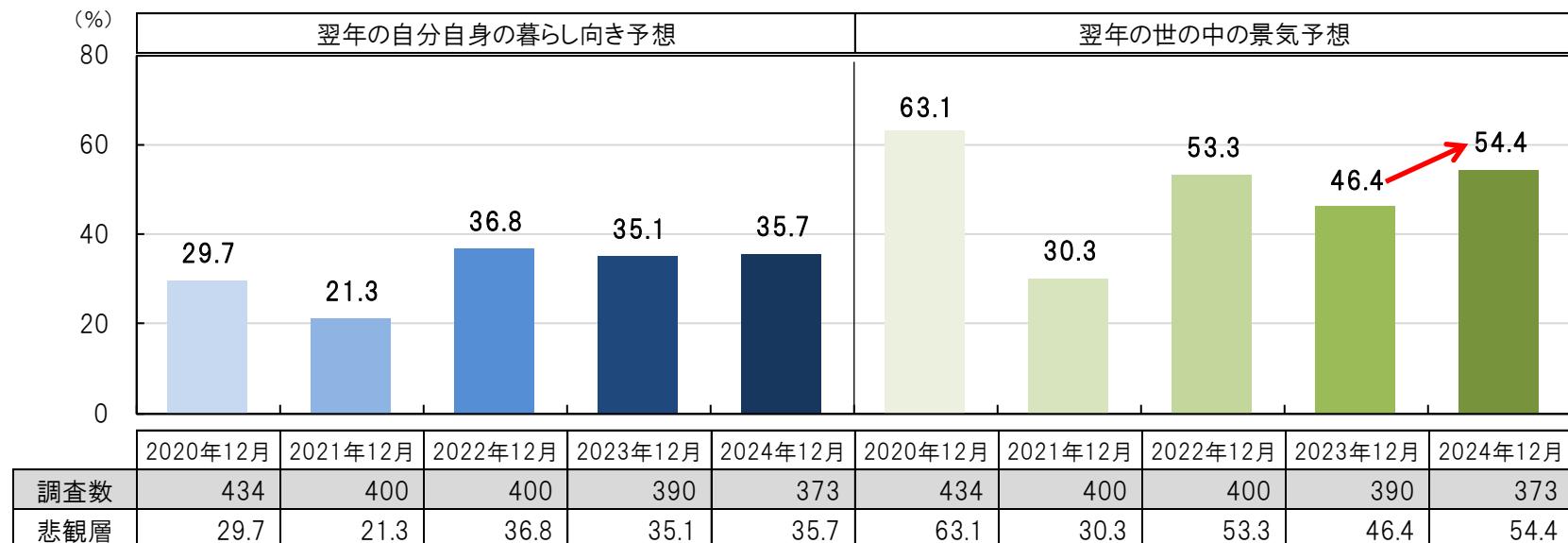
調査数	物価が上がったから	減世帯主のから収入が	必要家族にな病気つた治療や介護が	教育費が増えたから	共働きをやめたから	増え同居した家族から	増家別居たへして始仕いめ送るたりかがら	へ支住増払宅えいなたがど始のかまローラーの	その他	特にない・わからない	
2024年12月	122	87.7	27.0	9.8	9.8	4.9	2.5	2.5	1.6	4.9	0.8
2023年12月	119	75.6	31.1	11.8	10.9	0.0	3.4	1.7	5.9	4.2	3.4
2022年12月	114	74.6	37.7	5.3	11.4	4.4	0.0	0.0	1.8	2.6	4.4

4. 2025年の暮らし向き、及び世の中の景気予想

- 2025年の「自分自身の暮らし向き」について「悪くなる」「どちらかというと悪くなる」と回答した悲観層の割合は、昨年からほぼ変わらず3割半ばである。
- 一方、「世の中の景気」は昨年から8ポイント増加して5割半ばが悲観層である。

◆翌年の自分自身の暮らし向き予想 悲観層の推移
【単一回答】

◆翌年の世の中の景気予想 悲観層の推移
【単一回答】



* 悲観層＝「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

4. 2025年の暮らし向き、及び世の中の景気予想

- 「自分自身の暮らし向き」は、悲観層が楽観層を上回っている層が多く、50代以上、世帯年収300万円未満層で悲観層の割合が4割を超える。唯一、世帯年収別の900万円以上層は楽観層が悲観層を18ポイント上回っている。
- 「世の中の景気」は悲観層の割合が「自分自身の暮らし向き」と比べてさらに高く、中でも20~30代や世帯年収500~700万円未満層6割を超える。

◆2025年の自分自身の暮らし向き予想
【单一回答】

		調査数	[%]					
性別	年代別		良くなる	良どちらかといふと	いどちらかといふとも	悪どちらかといふとも	悪どちらかといふと	悪くなる
全体		373	1.6	11.5	51.2	25.7	9.9	
性別	男性	131	2.3	9.9	51.1	26.7	9.9	
	女性	242	1.2	12.4	51.2	25.2	9.9	
年代別	20~30代	73	2.7	15.1	58.9	17.8	5.5	
	40代	100	1.0	14.0	55.0	18.0	12.0	
	50代	100	2.0	12.0	44.0	30.0	12.0	
	60代以上	100	1.0	6.0	49.0	35.0	9.0	
	300万円未満	71	1.4	8.5	42.3	33.8	14.1	
世帯年収別	300~500万円未満	77	1.3	9.1	53.2	26.0	10.4	
	500~700万円未満	76	1.3	10.5	52.6	23.7	11.8	
	700~900万円未満	40	0.0	7.5	62.5	27.5	2.5	
	900万円以上	38	7.9	21.1	60.5	10.5	0.0	
					13.1	35.7		
					12.2	36.6		
					13.6	35.1		
					17.8	23.3		
					15.0	30.0		
					14.0	42.0		
					7.0	44.0		
					9.9	47.9		
					10.4	36.4		
					11.8	35.5		
					7.5	30.0		
					28.9	10.5		

* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかといふと良くなる」／ 悲観層＝「悪くなる」+「どちらかといふと悪くなる」

◆2025年の世の中の景気予想
【单一回答】

		調査数	[%]					
性別	年代別		良くなる	良どちらかといふと	いどちらかといふとも	悪どちらかといふとも	悪どちらかといふと	悪くなる
全体		373	0.5	7.0	38.1	38.6	15.8	
性別	男性	131	0.8	12.2	33.6	38.9	14.5	
	女性	242	0.4	4.1	40.5	38.4	16.5	
年代別	20~30代	73	1.4	4.1	34.2	49.3	11.0	
	40代	100	0.0	7.0	43.0	34.0	16.0	
	50代	100	1.0	9.0	33.0	36.0	21.0	
	60代以上	100	0.0	7.0	41.0	38.0	14.0	
	300万円未満	71	1.4	5.6	38.0	33.8	21.1	
世帯年収別	300~500万円未満	77	0.0	7.8	40.3	36.4	15.6	
	500~700万円未満	76	0.0	6.6	27.6	47.4	18.4	
	700~900万円未満	40	0.0	7.5	35.0	47.5	10.0	
	900万円以上	38	2.6	13.2	42.1	31.6	10.5	
			7.5	54.4	13.0	53.4	4.5	55.0
			12.2	36.6	13.6	35.1	7.0	50.0
			17.8	23.3	15.0	30.0	10.0	57.0
			14.0	42.0	14.0	42.0	7.0	52.0
			7.0	44.0	9.9	47.9	7.0	54.9
			10.4	36.4	11.8	35.5	7.8	51.9
			7.5	30.0	7.5	30.0	6.6	65.8
			28.9	10.5	28.9	10.5	7.5	57.5

- 2025年の自分自身の暮らし向きが「良くなる」「どちらかというと良くなる」と予想した理由は、**仕事復帰や転職、副業など**により収入増加が見込まれているケースが多い。
- 対応や対策も収入増加に加え、**節約や投資**を予定しているケースが多い。

◆楽観層の理由と対応・対策【FA回答】 *任意回答

理由	(n=49)	対応・対策	(n=45)
収入関連 「会社内で出世していくから:20～30代男性 「転職:50代男性 「仕事が増える:60代以上男性 「育休から復帰して働くため:20～30代女性 「仕事を増やし収入を増やす予定:40代女性 「仕事を増やす:50代女性	23件	収入関連 「仕事を続ける:20～30代男性 「旦那の収入が増えたので暮らしも生活も前向きに:20～30代女性 「副業の時間を増やす:40代女性 「転職、増職:50代女性	10件
投資・貯蓄 「節約と投資を頑張っているから:50代男性 「資産運用がうまくいっているから:20～30代女性 「投資をはじめる:40代女性 「資産形成をしているから:50代女性	5件	節約 「支出を減らすこと、それだけ:40代男性 「食料品以外の生活必需品の消費を普段から節約し、 買い物替えないでいいよう工夫していく:50代男性 「節約する:20～30代女性 「本当に必要なものだけにお金を使い、 あとは老後のために楽しく貯めていく予定:50代女性	9件
節約 「節約:20～30代女性	2件	投資 「株も含めて世帯収入を増やす予定:40代男性 「さらに投資額を増やしていく:50代男性 「これからも投資を続けていく:40代女性	7件
その他 「政治の改革:60代以上男性 「子供が進学し教育費用が少し落ち着く予定:40代女性 「不動産収入の見込みがあるため:50代女性 「年金が満額もらえるようになるから:60代以上女性	11件	貯蓄 「貯金していく:20～30代女性 「趣味を楽しみながら貯金をする:60代以上女性	2件
特になし	9件	その他 「謙虚に生きる:50代男性 「そのままコツコツ続ける:20～30代女性	10件
		特になし	7件

- 2025年の自分自身の暮らし向きが「悪くなる」「どちらかというと悪くなる」と予想した理由は、物価高による家計の圧迫や収入が上がらない・減ることが予想されているケースが多い。
- 割引品の購入や買い控え等による節約や、ダブルワーク・仕事量を増やし収入を上げるなどの対応・対策を予定しているケースが多い。

◆悲観層の理由と対応・対策【FA回答】 *任意回答

(n=123)

理由	件数
物価高 「物価高が止まらないから:20~30代男性 「物価高に対して給与は上がらないから:50代男性 「物価の上昇が止まらないので:40代女性 「生活するほとんどの物が上がりこれから下がることはないと思う:60代以上女性	66件
収入関連 「給与が上がらない:40代男性 「副業がなくなる可能性があるから:50代男性 「転職したから:20~30代女性 「子育てに専念するので収入が減る:20~30代女性 「給料が低く生活が苦しい:40代女性 「物価はますます上がるだろうが、夫は65歳になり退職予定だから:60代以上女性	25件
教育費 「まだ教育費がかかるから:50代男性 「子どもが進学のためお金がもっと必要になるから:20~30代女性 「子どもの年齢があがるにつれて教育費が高くなるため:40代女性	5件
国際情勢 「争いばかりで、良くなるとは思えない:50代女性	4件
税金 「税金や物価高がとまらない:50代男性 「税金が高すぎる:20~30代女性	3件
年金 「もうじき年金生活になるから:60代以上女性 「年金が上がらないから:60代以上女性	3件
その他 「人口構成のうち、高齢者が占める割合が増えていく:60代以上男性 「不妊治療でお金が出ていく為:20~30代女性 「もっと仕送りが必要になる:40代女性 「良くなる見込みが無いから:50代女性 「色々な支払いが増えそうです:60代以上女性 「先行きが見えない:60代以上女性	19件
特になし	6件

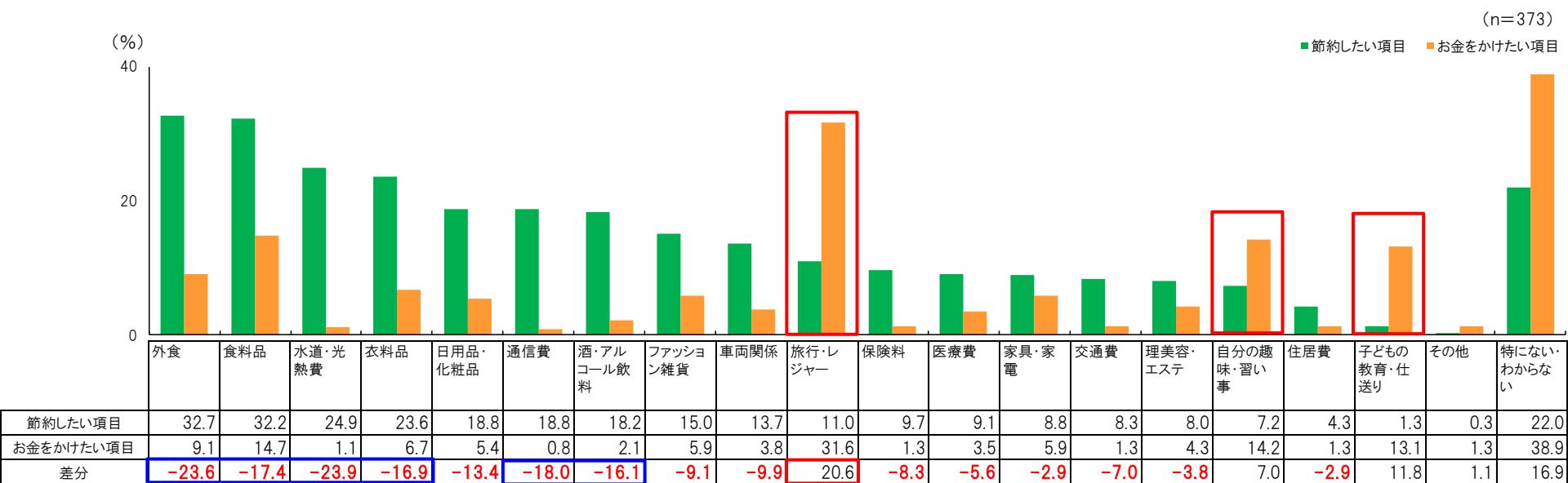
(n=122)

対応・対策	件数
節約 「値引品を更に購入する:20~30代男性 「趣味に使うお金を節約している:50代男性 「安い物に変える:60代以上男性 「今まで通り特売品で安くなつた食材でご飯を作つたり、嗜好品を減らしたりしようと思う:20~30代女性 「被服費、レジャーを控える:40代女性 「できるだけ旬の安いものを買う:50代女性 「肉などメガ盛りを買って、小分けして使う:60代以上女性 「買い控え:60代以上女性	78件
収入関連 「ダブルワーク:50代男性 「今専業主婦なので働きに出る:20~30代女性 「時給の高いところで働く:50代女性	10件
ポイ活 「ポイント活動:50代男性 「自分がしっかり働いたりポイ活を頑張つたりお金の勉強をしていく:40代女性	2件
その他 「引越しする:20~30代男性 「事前に必ずかかる費用(住民税や必要経費)を貯めておく:20~30代女性 「なるべく公的支援を受ける:50代女性 「選挙に行く:50代女性	21件
特になし	20件

6. 2025年に節約したい・お金をかけたいこと

- ほとんどの項目で【節約したい項目】が【お金をかけたい項目】を上回った。15ポイント以上上回っているのは「外食」「食料品」「水道・光熱費」「衣料品」「通信費」「酒・アルコール飲料」であり、特に食に関する項目で節約志向が高まっている。
- 【お金をかけたい項目】が【節約したい項目】を上回ったのは、「旅行・レジャー」「自分の趣味・習い事」「子どもの教育・仕送り」のみである。特に、「旅行・レジャー」は20ポイントも上回っている。

◆2025年に節約したい・お金をかけたい項目【複数回答】



* 差分 = 「お金をかけたい項目」 - 「節約したい項目」

**マーケティングリサーチからコンサルティングまで
福岡・九州の生活者マーケティングは、株式会社ジーコム**

1986年の創業以来、35年福岡・九州で
「マーケティング・リサーチ」と「ビジネスコンサルティング」の専門会社として、
顧客視点に基づく科学的なアプローチによって的確な課題解決策を導き出し、
マーケティングサポートを行っています。

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル7F
TEL 092-761-0221 FAX 092-761-0228
<https://www.gcom-net.co.jp/>
inq@gcom-net.co.jp